

122 昭和時代 二・二六事件

< 岡田啓介 内閣 > (挙国一致内閣)

1934 陸軍パンフレット事件

これからは軍が国家建設の推進力になっていくんだ宣言です
「国防の本義と其の強化の提唱」というパンフレットです。

1935 ワシントン海軍軍縮条約廃棄

対米7割必要だという海軍の主張にも関わらず、ワシントン会議で主力艦対米6割になった条約に海軍はもとと不満でした。
(岡田内閣の外務大臣は広田弘毅)
おっ母のシワ 岡田内閣 ワシントン軍縮条約廃棄

1935 天皇機関説事件 (美濃部達吉)

統治権は天皇ではなく国家にあり、天皇は国家の最高機関として憲法に規定された権限のみを行使するという学説です。軍部が政治に干渉するには不都合な学説です。そこで統治権は天皇にあり、その権限は無制限だという学説を正統とすべきだという事件です。

てんのうべ 天皇機関説事件 美濃部達吉

1935 国体明徴声明

右翼団体の攻撃に屈して、岡田は「天皇を国家の一機関とする天皇機関説は誤りである」と声明を発しました。

明るいおっ母 明徴声明 岡田内閣

1935 相沢事件

皇道派の相沢三郎中佐が、真崎甚三郎を更迭した統制派に憤激して、統制派幹部の永田鉄山を、陸軍省で白昼斬殺した事件です。

1936 二・二六事件

2/26 皇道派青年将校が決起部隊 1500 名を率いて東京を占拠。天皇陛下の判断を誤らせているのは取巻きの重臣のせいだとして、
・ 斎藤実 (内大臣) 死亡、高橋是清 (大蔵大臣) 死亡、
・ 統制派幹部の渡辺錠太郎 (陸軍教育総監) 死亡、
・ 鈴木貫太郎 (侍従長) 重傷 (とどめ刺さず)
・ 岡田啓介 総理大臣…影武者が身代わりに死亡 (岡田は押入れ)
・ 陸軍省を包囲して陸軍大臣に「決起趣意書」を手渡す。
・ 陸軍省幹部「お前たちの気持ちは、よく分かつとる！」
・ 陸軍「同士討ちはできない」と反乱軍鎮圧を決断できず。
2/27 東京に戒厳令がしかれる (なんと7月まで)
・ 鎮圧部隊の名簿に決起部隊も入っていた。
・ 昭和天皇「陸軍が行かないなら、朕が鎮圧に行く！」と激怒
・ 石原莞爾が鎮圧に行く。昭和天皇「石原という男は、分かん

あっかない! さいとうたかを

岡田啓介総理大臣 斎藤実 高橋是清

国会議事堂をバックに進軍する戦車部隊



・ 反乱将校及び 北一輝 死刑。

・ 皇道派壊滅 。

青年将校に影響を与えた思想家。『日本国家改造法案大綱』

< 広田弘毅 内閣 > (挙国一致内閣)

岡田内閣の外務大臣。総理が襲撃された後なので、なり手があらず、「火中の栗を拾った」内閣と言われました。

方針 広義国防国家 の建設



広田弘毅

1936 軍部大臣現役武官制復活

山形の 山で拾った 武官制

山県 II (制定) → 山本 I (削除) → 広田 (復活)

1936 国策の基準 策定

北進論・南進論 (両論併記) …南進が初めて明記!

ひろたこう基準!

広田弘毅 内閣 南進を初めて認めた国策の基準

1936 文部省 国体の本義 発行

1936 馬場財政で紙幣大量発行

→ 軍の要求で超軍拡予算を組む。戦艦大和

1936 日独防共協定

軍がナチスドイツと軍事同盟を結ぼうと動くので、広田が何とか軍事同盟でない防共協定にトーンダウンさせることができました。広田は貿易相手国のアメリカとの関係を悪化させないように頑張りました。

1936 軍と政党の対立で内閣崩壊

東京裁判で、文官として唯一 A 級戦犯として死刑執行されたのは、この広田でした。連合軍が広田を死刑に値すると判断した理由をこのプリントから探してみましょう。

< 宇垣一成 > (組閣を断念)

宇垣は政党内閣の陸軍大臣を務め、ワシントン軍縮条約やロンドン軍縮条約の時に陸軍の軍縮に取組みました。軍人と政党の両方に顔のきく人物として選ばれました。

軍縮で多くの軍人を退役に追い込んだ宇垣へ恨みはすさまじく、軍部大臣現役武官制... を使って陸相を出さず、組閣断念に追い込んだ



組閣断念を発表する宇垣

< 林銑十郎 > (挙国一致内閣)

軍と政党の対立をまとめられず、何もできないまま総辞職しました。何もせんじゅうろう内閣と言われました。

・ 軍財抱合 を進める

・ 青年将校は財閥を打倒しようとしてきましたが、統制派は広義国防国家建設のため財閥の工業力を欲していました。戦艦武蔵は三菱長崎造船所で建造されます。
・ 軍と財閥が仲良くなれば、財閥と癒着している政党と軍の関係も改善できます。